

日ルーマニア・エネルギーフォーラム共同声明
2024 年 11 月 4 日

2024 年 11 月 4 日、日ルーマニア・エネルギーフォーラムがブカレストで開催され、竹内真二経済産業大臣政務官及びセバスティアン・イオアン・ブルドゥジャ・エネルギー大臣（以下、両者を「大臣」と呼ぶ）が参加した。

1. 両大臣は、双方より 27 の企業および関係団体が参加した同フォーラムを歓迎し、2023 年 3 月 7 日に構築された「戦略的パートナーシップ」に基づき、両国の連携を強化していくことの重要性を再確認した。

2. 双方は、クリーンエネルギーへの転換の必要性を認識し、原子力、水素、再生可能エネルギー、CCUS などの発展について意見交換を行った。また、両者は、ロシアのウクライナ侵略を契機としたエネルギー安全保障や、経済発展によるエネルギー需要の増加といった重要な課題に対応するため、上記の分野で日本の先端技術を導入し、協力を深めていく意向を表明した。

3. ブルドゥジャ大臣とルーマニア企業は、日本側と協力したいと考えているプロジェクトを紹介した一方、竹内政務官と日本企業は、日本の先進技術がルーマニアのエネルギー転換に大きく貢献し得ることを説明した。

4. 両大臣は、日本企業によるルーマニアへの投資を促進し、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）やルーマニア・エネルギー省などが提供する財政支援プログラムを活用しながら、両国がこれらのプロジェクトに対して財政支援の確保を追求することを確認した。

5. 加えて、両大臣は、日本貿易振興機構（JETRO）やその他機関によるエネルギー分野における双方の企業のビジネスマッチング支援を継続し、必要に応じて、両省に必要な情報提供を行うことを確認した。

6. 両大臣は、ルーマニア・エネルギー省と伊藤忠商事の間のタルニッシュ・ラブセシュタイ揚水発電所の可能性調査実施に関する協力覚書の署名を歓迎した。

7. また、両大臣は、ルーマニアの ELCEN と日本のパナソニックが、水素と再生可能エネルギー源を組み合わせた自立型電力システムに関する覚書きの調整を進めることを歓迎した。

セバスティアン・イオアン・ブルドゥジャ
大臣
エネルギー省

竹内 真二
経済産業大臣政務官
経済産業省